

アクティブラーニング型の英語教育

関 孝平

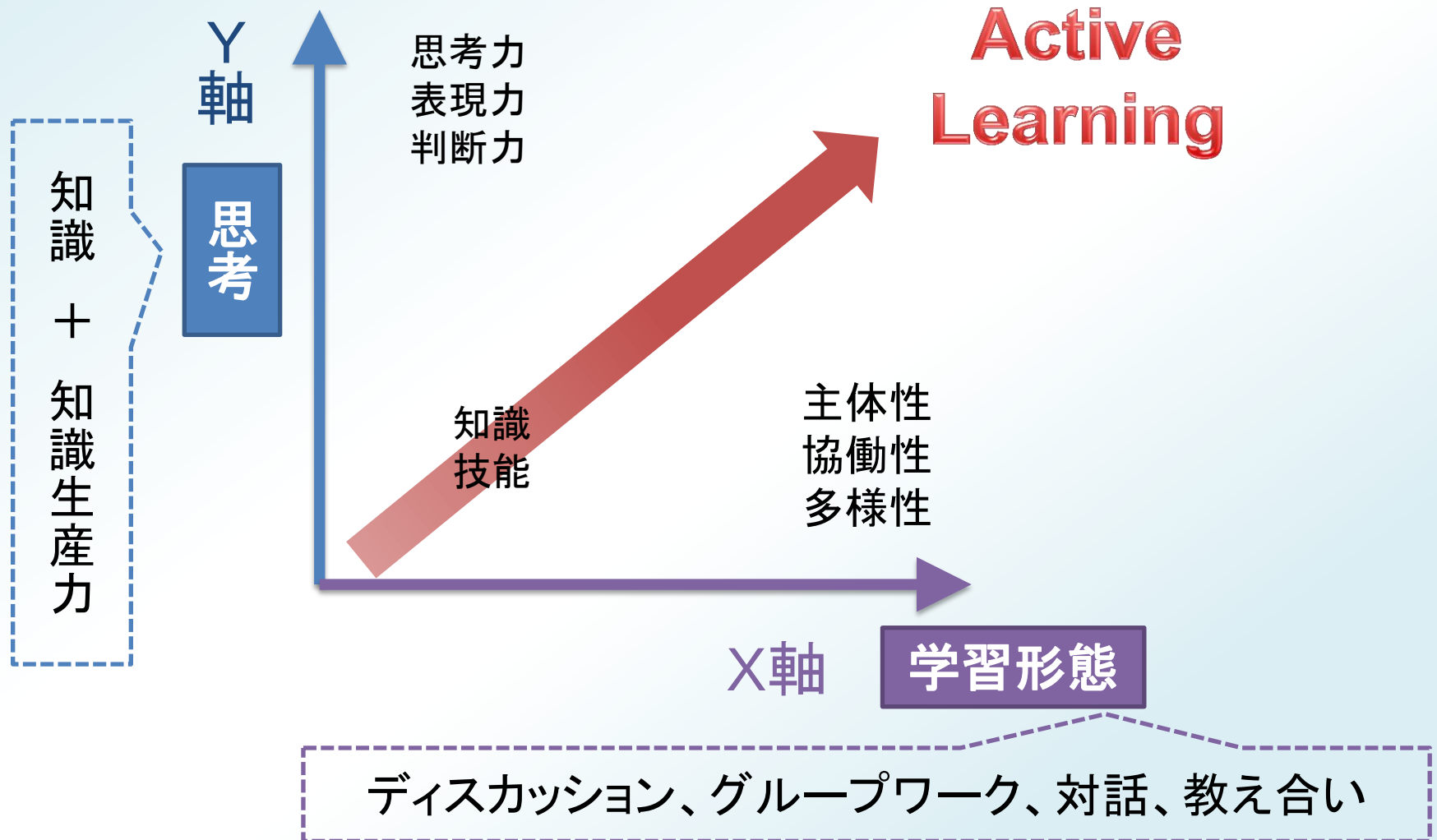
Max Kohei Seki

アクティブラーニングって、、、結局なに？

何がどうアクティブなの？

アクティブラーニングのモデル

2次元でとらえよう



思考のレベル

パリをテーマにして考えてみよう

- レベル6 首都に代わる新たな体制を提案しなさい。
+ 価値創造
- レベル5 パリの課題を設定し、その解決策を提案しなさい。
+ 課題解決
- レベル4 フランスの首都がなぜパリなのか、答えなさい。
+ 知識の編集
- レベル3 日本の首都とフランスの首都を比較対照しなさい。
+ 分析
- レベル2 フランスの首都の特徴を答えなさい。
+ 知識検索
- レベル1 フランスの首都はどこか答えなさい。
知識

実際の授業活動に取り入れる

Concepts of English

English for Global Communication

- グローバルな舞台でコミュニケーションを取ることができる
- 異文化やグローバルに対する素養、意識、マインドを持つ
- 4技能の統合、英語を英語で理解する、アウトプットスキルの充実

Academic English

- 国内外の大学の授業を英語で受けることができる
- 英語の講義、ノートテイキング、プレゼンテーション、エッセイ

English for University Pathways

- (国内外の)進路実現を可能にする
- 入試演習、TOEFLに対応できる英語力

英語教育デザイン： キーワード

英語で読む

- 精読、和訳 → 英語で読み、要点を捉える
- 多読の奨励

アウトプット 活動の充実

- ペアワークの充実
- オーラルスキルの指導

体系的な ライティング指導

- アウトラインの書き方をトレーニングする
- 中3、高1からパラグラフライティングを行う

プロジェクト型 学習の導入

- 英語を使ってクリエイティブに活動する
- プレゼンテーションを行う

4技能を横断する スキルの育成

- ノートテイキング
- ロジカルシンキング、など

テスト&評価法の見直し

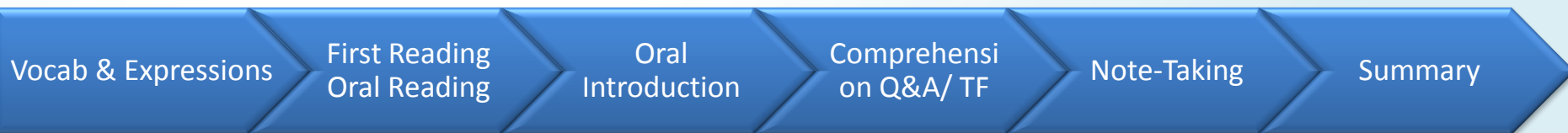
- 観点別評価(ルーブリック評価)の導入
- 外部試験の積極的活用

授業活動の軸

授業活動のベースライン

- ・ 読解授業、4技能授業の主たる言語は英語
- ・ 精読、和訳 → 多くを読む、英語で読む、要点をつかむ力を身に付ける
- ・ ペア活動の充実 → 個人の活動量の増加（ただし要クラスコントロール）
- ・ リーディングを中心に4技能を組み入れる
- ・ ノートテイキングスキルを育成する → 情報分析、構成、再構築
- ・ サマリーで発展的なアウトプット活動を促進する

1つのモデル



指導法のケーススタディ

SETTING

学年、クラス： 中学2年、普通学級

週授業数： 4時間

生徒数： 23名

教科書： New Treasure 2nd Edition

POINT

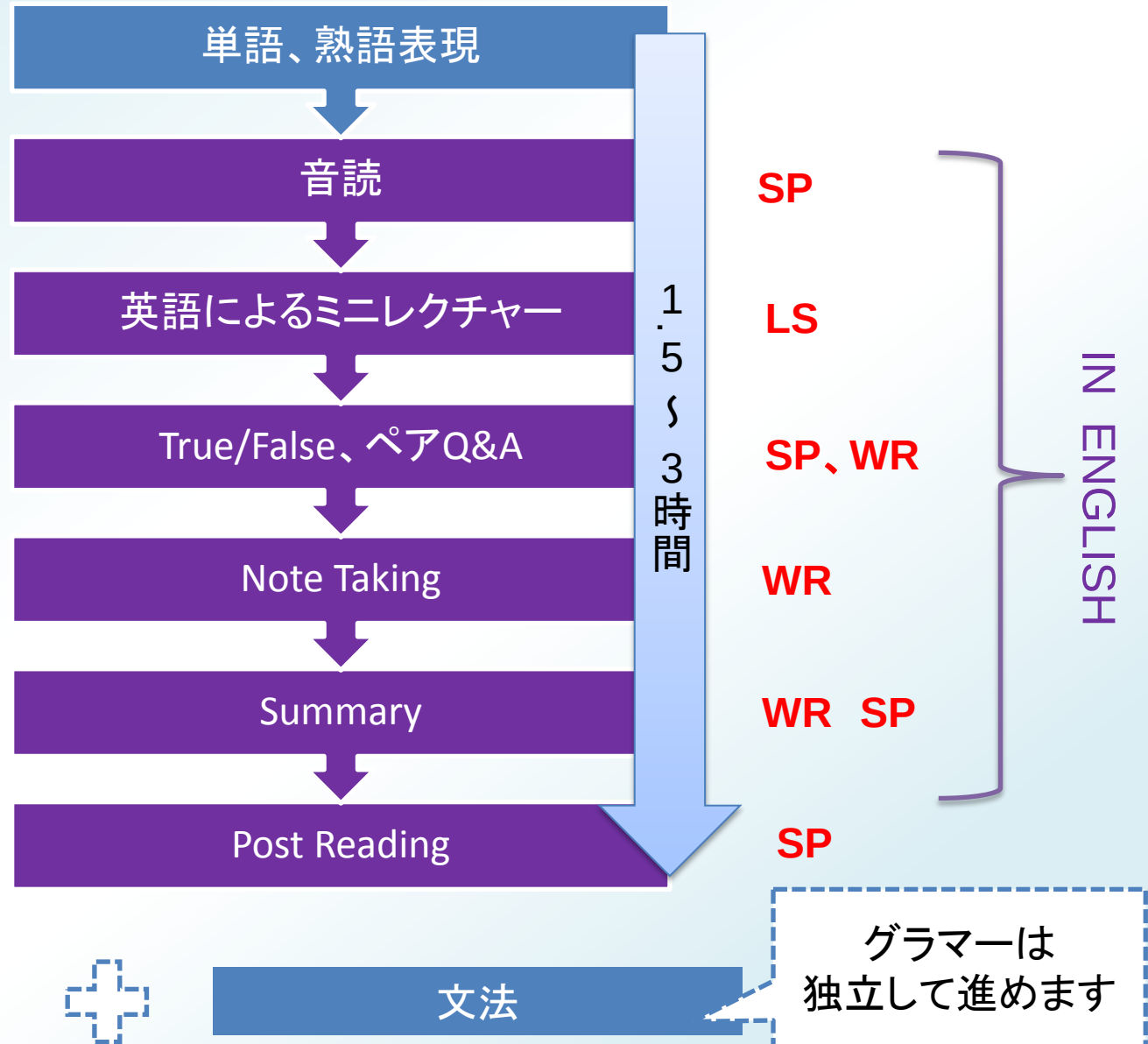
4技能統合した授業

ペアワークを中心とした活動

生徒の英語使用量

指導法のケーススタディ

【参照】
添付資料①



指導法のケーススタディ

Vocabulary

音読

授業では音読から
始めます

ミニレクチャー

本文の内容を
英語でレクチャーします

T/F

POINT

精読、和訳 ⇒ 多く読む、英語で読む、要点をつかむ力

1 2 3 4 5 6 7 8

- ① セクションごとに区切って読む
- ② 和訳、文法&構文の解説
- ③ 使用言語； 日本語



前半

後半

- ① 前半、後半に分けて読む
- ② 英語による読解理解を中心に行う
- ③ 使用言語： ENGLISH

指導法のケーススタディ

ミニレクチャー

T/F

ペアQ&A

Note Taking

自分のQuestionsを確認しに行く(1 min)

教室の前



Questions and Answers A

- ① Where did Karen go last year?
- ③ What does Yumi think about the Buckingham Palace?

協力してワークシートを完成させる

B Questions and Answers

- ① Q: What was Tom's Problem?
A: He got up late this morning.
- ② Q: Why was Tom's lucky?
A: He wasn't late for his class.
- ③ Q: Why was Tom hungry?
A: He didn't eat breakfast.
- ④ Q: What did Yumi say about tomorrow?
A: Get up early tomorrow.

教室の後



Questions and Answers B

- ② Which city is the oldest of the three?
- ④ Whose pictures are the best in Yumi's family?



指導法のケーススタディ

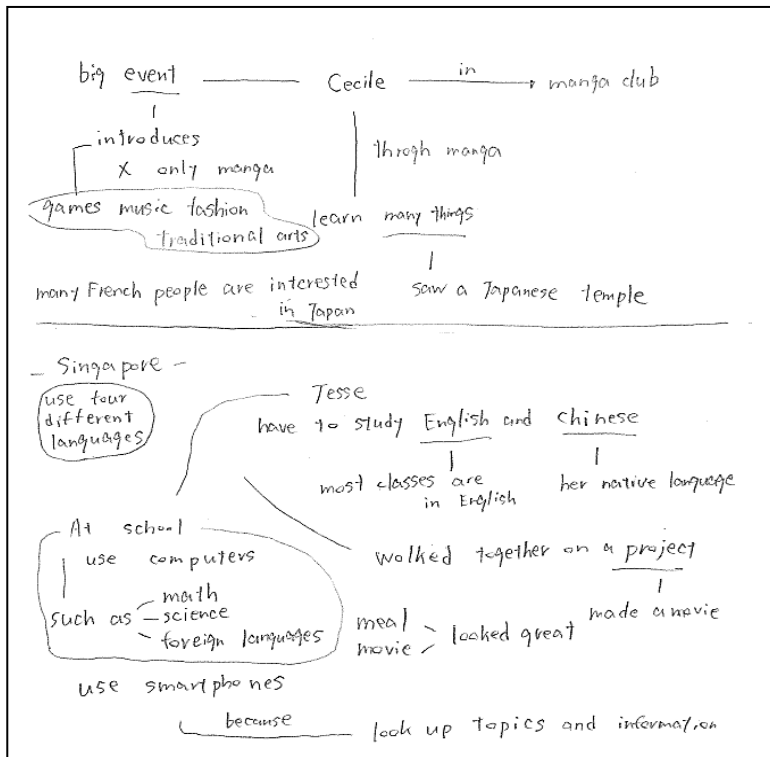
ペアQ&A

Note-Taking

Summary

Post Reading

ノートテイキング



サマリー

Cecile likes Japanese manga and she is a member of the manga club. Through manga, she can learn many things about Japanese culture. For example, she saw a Japanese temple in a manga. There is a big event about Japan in Japan Expo. It introduces not only manga. It introduces Japanese games, music, fashion traditional arts. Now, many French people are interested in Japan.

Tesse lives Singapore, now. Many people use four different languages. At school most classes are in English. And her native language is Chinese, so she have to study English and Chinese, students use computers such as math, science and foreign languages. she walked on a project, and made a movie. Meal and movie looked great, many students use smartphones because look up topics and information.

Note-Taking: Sample

Treasure Stage 4 Lesson 10

E Note-Taking
[The First Half]

mapmaking

relate history of (human civilization / human knowledge)

- show people in a particular area
- reveal (group's perspective / their knowledge / their priorities)

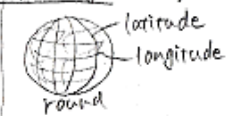
First known map (~600 B.C.)

Babylonian clay tablets

- grew various crops
- exported their surplus to other area
- success
- wanted to know more!
- believed Earth was flat

930 B.C.

Ptolemy (Greek)



input

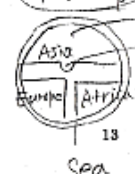


influenced making of map for many centuries

Middle Age

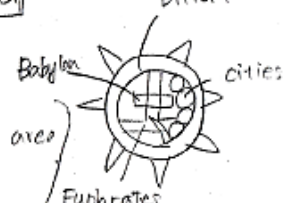


T-O map



Paradise
Jerusalem
Center of civilization

Bitter River & Sea



knowledge of the Earth's geography grew ex) Aristotle "Earth is round"

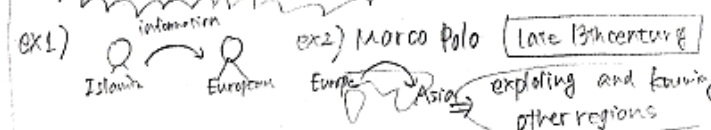
Treasure Stage 4 Lesson 10

[The Second Half]

Late Middle Age (12th century)

sea trade in Mediterranean

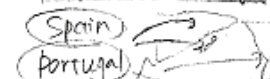
middle the earth
greater demand for maps



exploring and knowing other regions

Renaissance (accuracy / availability of maps)

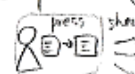
① Age of Discovery (15~17th century)



ex) Columbus, Magellan, Cabral... and so on!

⇒ established colonies

② printing press ⇒ share (more detailed / accurate) map



spread "Earth is round"

16th century

world's top mapmakers active

ex) Mercator

Verderlandsche company (East India)



easier to go across the sea

Modern times



more or less perfect map

Internet map
printed atlases



Note-Taking

WHY Note Taking?



そもそもノートテイキングとは

RECONSTRUCTION



COMPREHENSION

- ・ 要点をしっかり理解する
- ・ キーワードを正しく選び、正しくまとめる



PRODUCTION

- ・ 分かりやすくまとめる
- ・ 見やすくまとめる

2つをつなぐアカデミックスキル

ノートテイキング

指導のポイント



NTの趣旨を理解させる

モデルとなるNTを提示する

ペアでNTを評価しあう

良いNTを共有する

NTを次の活動に発展させる

繰り返し × 繰り返し

ノートテイキング

評価とルーブリック

ペアでの相互評価 → 教員の評価

【参照】
添付資料②

**Note-Taking
Can-Do & Evaluation Sheet
For Students**

Lesson: _____

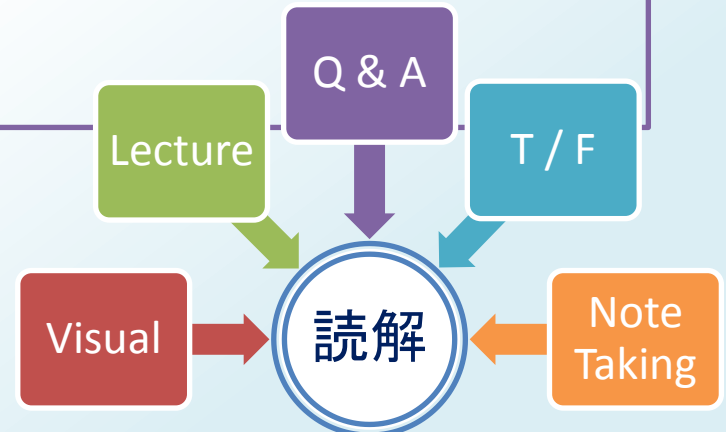
作成者: _____ 評価者: _____

	求められる項目	具体的な基準	Peer Check	教員
1	要点をしっかりと理解する	・話者、筆者の意図を正確に理解し、重要なポイントを分かりやすくしっかりとめることができる。		
2	キーワードを正しく選ぶ、正しくまとめる	・重要な情報を正しく選び、単語もしくはフレーズで短く、わかりやすくまとめることができる。 ・様々な情報を適切につなげて、1つのノートテイキングとしてまとめることができる。		
3	分かりやすくまとめる。	・本文の内容にあったまとめ方ができている（出来事の順番が分かるようにまとめてあったり、要点別にまとめてある） ・一目で、重要なところが分かるようにまとめることができる。		
4	見やすくまとめる	・矢印、記号、絵などを利用して、わかりやすくまとめることができる。 ・字が見やすい。		

4技能を統合したReadingのポイント

POINT

- ① 多角的なアプローチで読解を助ける
- ② ペアワークでインターアクションを促進
- ③ ノートテイキングの活動を行い、それを発展的に活動につなげる
- ④ バラエティーに富んだ活動を設定する + テンポよく回す
- ⑤ 活動をルーティーンにする + 段階的に活動を増やす
- ⑥ 信念を持つ

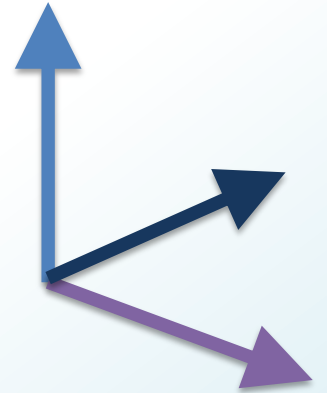


PROJECT活動

英語をコミュニケーションの道具として、
自らの学習の成果を創る

これがALの3つめの次元

PRODUCT(成果物)



PROJECTを促進する3つの柱

MISSION

POSITION

SITUATION

言語活動のタスク → Communicationのタスク

PROJECT活動 例



例1： 外国の国を調べて発表する

➡ 観光庁の大使として、合同コンペで観光客を誘致せよ

例2： 夏休みの課題図書を読書感想文を書く

➡ 雑誌の編集者として、「今年のおすすめの1冊」の特集を書け

WRITING QUESTIONS

私たちの「観光省プロジェクト」について、「観光客誘致」というミッションの達成にもっとも成功した国はどこだと思うか。プレゼンテーションの仕方および内容面の両方について議論しなさい。

JIGSAWという考え方

3つのJIGSAW

インフォメーションのJIGSAW

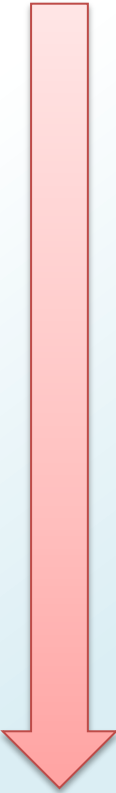
- メンバーで情報を持ち寄って、タスクを完成させる

ロール(役割)のJIGSAW

- メンバーが異なる役割を担い、タスクを完成させる

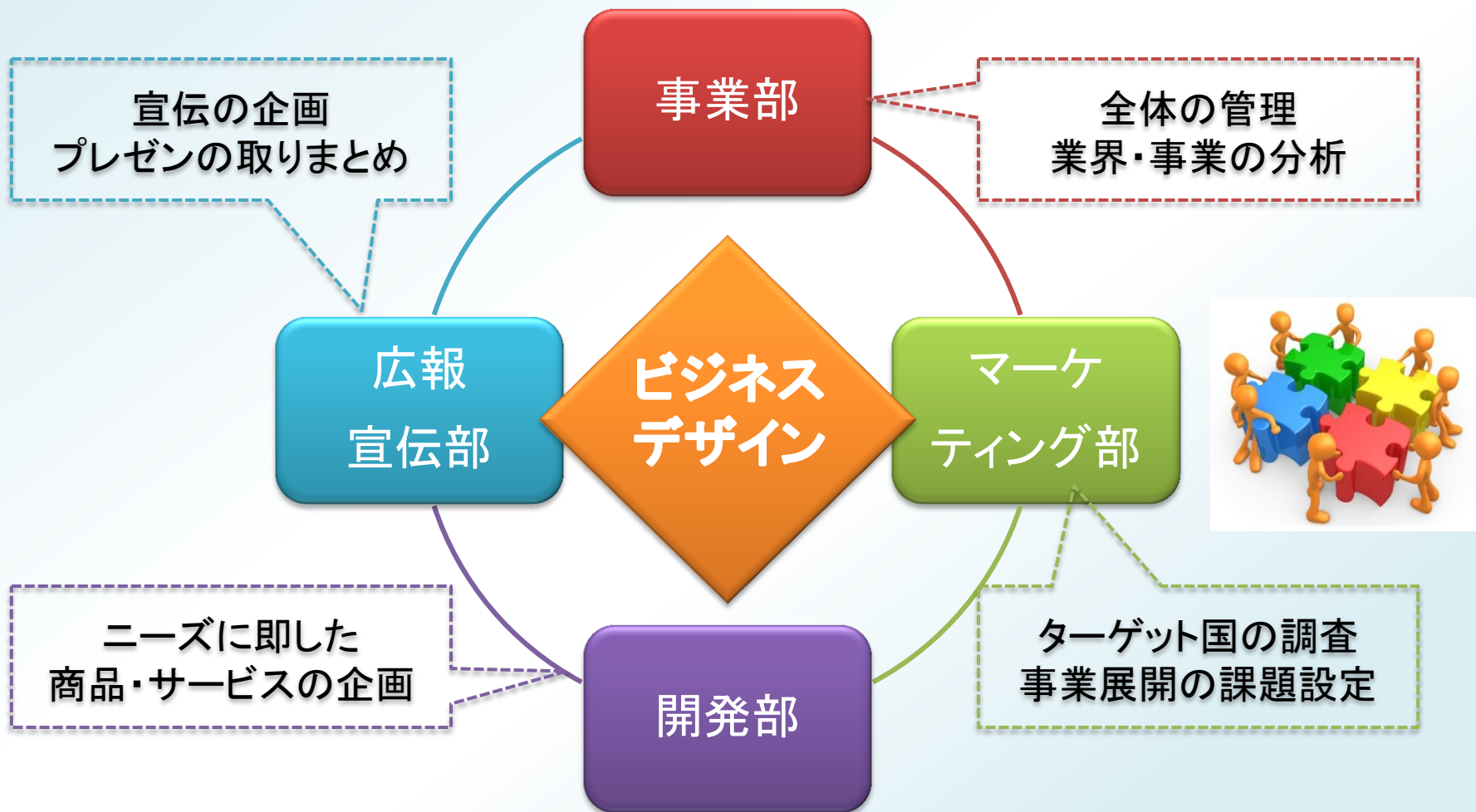
ポジションのJIGSAW

- メンバーが異なる立場で課題解決を行う



より高度な
ALへ

ロールジグソーのモデル



AL活動を設定するうえで

Q: アクティブラーニングを設計する際に、どのような観点が大切なのかまた、どのような活動が「良い」活動なのか、判断基準となる要素を考えてください。

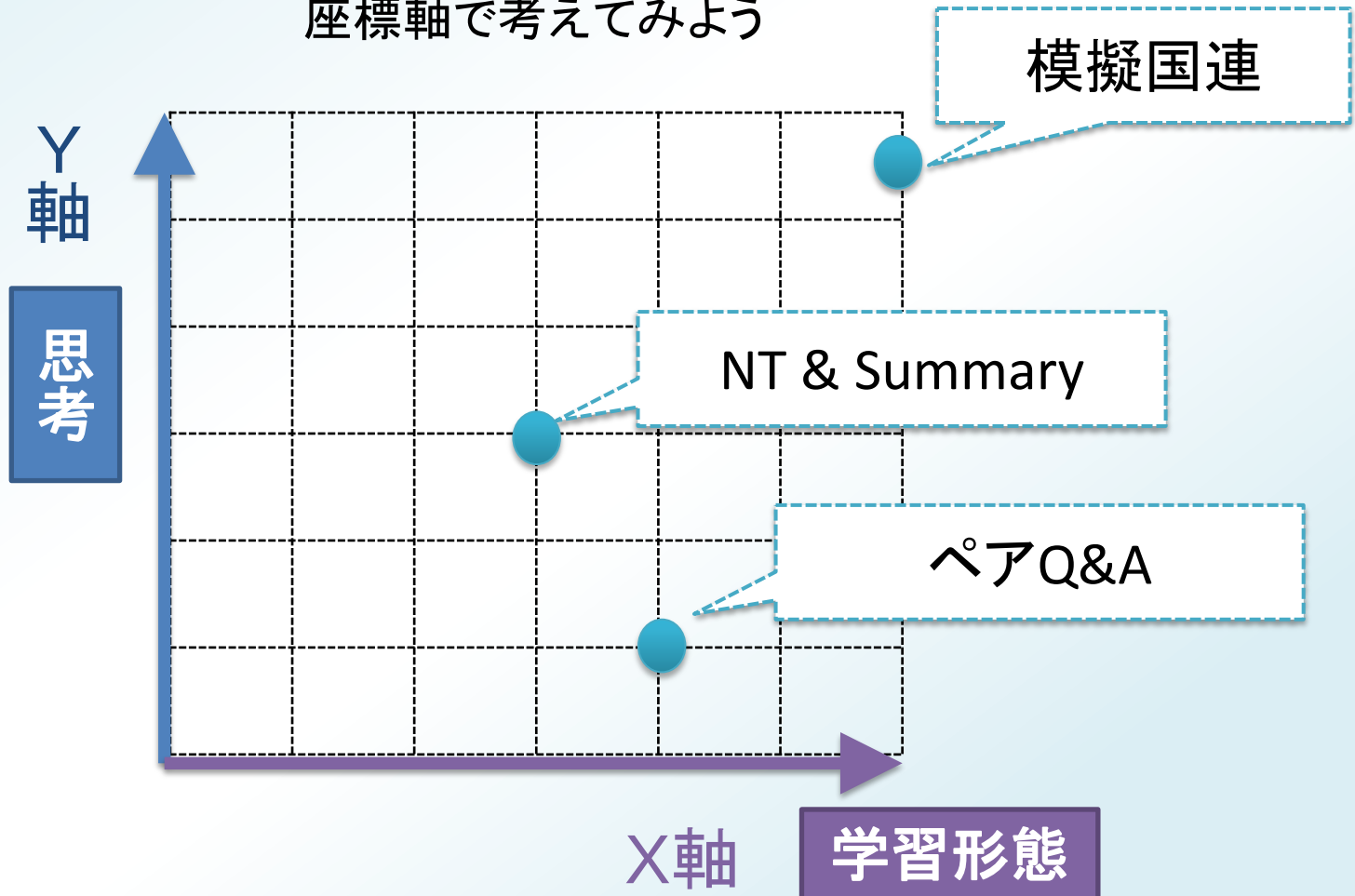
- 全員が積極的に参加できる。
- 協力なしには完成しない。
- 考えることを求めている。
- 思考力が段階的に上がっていくこと。
- 課題解決ができること。
- 答えが複数出る余地があること。答えが決まっていないこと。
- 知識のインプットと思考のバランスが取れていること。
- 何かを生み出すこと。

アクティブラーニングを評価する

授業者としてALを評価する

メタ的に授業設定を評価する

座標軸で考えてみよう



定期テストも変わる

コミュニケーション能力を測る

推測する、評価する、表現する力を測る

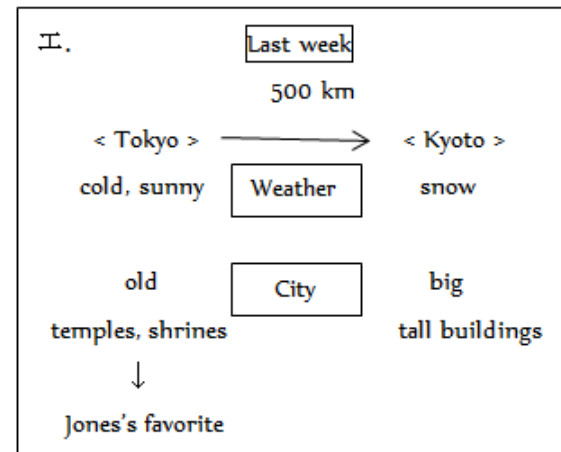
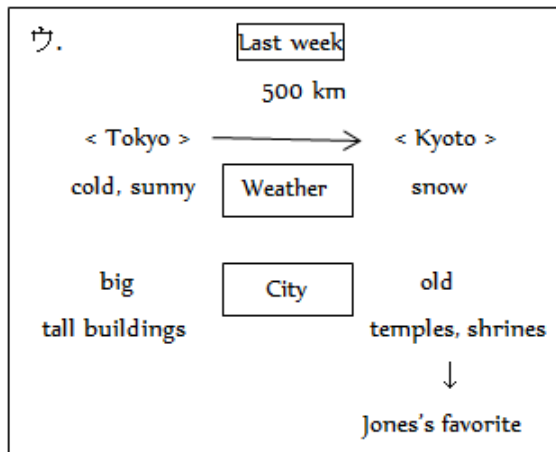
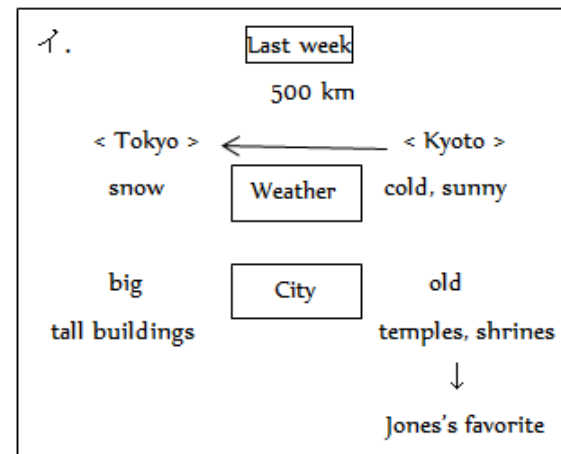
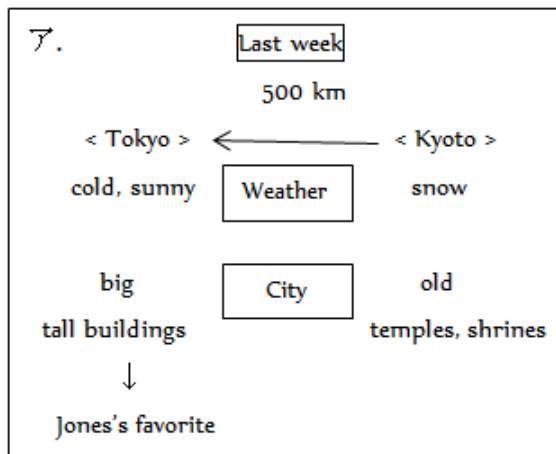
こういう問題が組み込まれています

- ・ 以下は誰の発言と考えられるか。
- ・ この話の続きとして考えられるものはどれか。
- ・ 以下はサラのこの日の日記である。これを読んで問いに答えなさい。
- ・ 彼女の起こした変化はなぜすごいのか、本文に即して、あなたの意見を述べなさい
- ・ 以下の写真には本文と異なる部分があるが、それはどこか。
- ・ 以下の表を見ながら、〇〇の1日のスケジュールを説明しなさい。

定期テストも変わる

ノートテイキングスキルを評価する

- この話をノートにまとめたものとしてふさわしいものを選びなさい。



評価方法の見直しと外部試験との接続

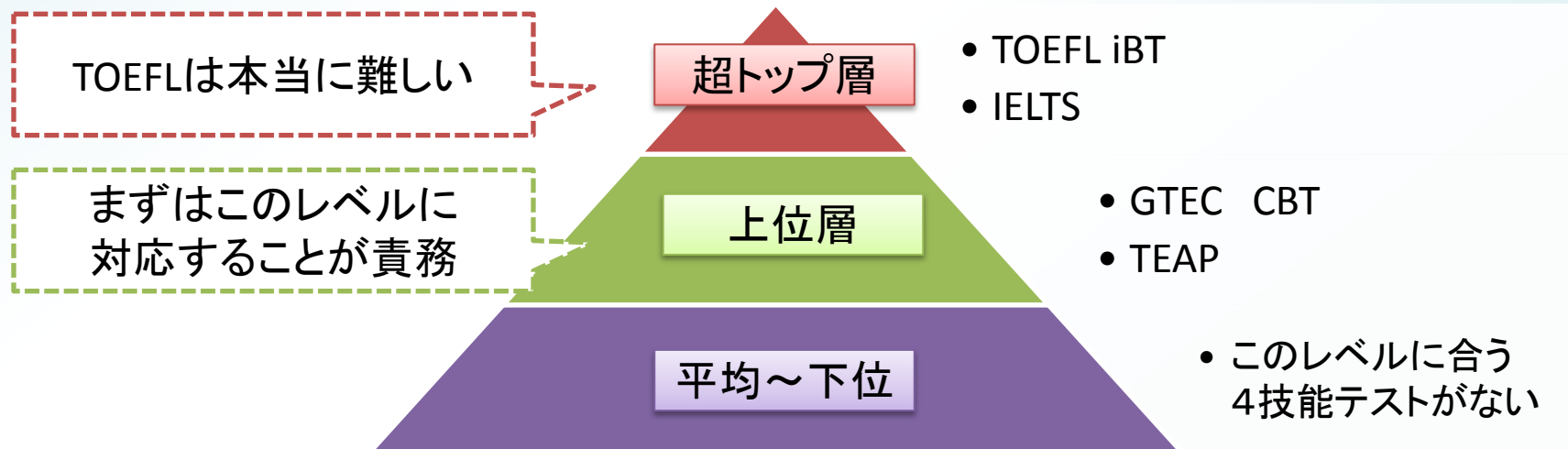
新しい評価方法の段階的導入

- 4技能をバランスよく評価する
- 形成的評価 & 総括的評価
- 教科横断的な評価方法の構築
- ルーブリック型評価方法の導入

外部試験の積極的活用

- 達成度評価および入試対策
- 学内でGTEC for Students
- 学外でGTEC CBT、TEAP
- 上位者、海外進学にはTOEFLも指導

学内の評価法と外部試験を「達成度評価」という点で接続させることも大きな課題



(参考: 文部科学省 『大学入試に外部試験を導入する現実的方法』)

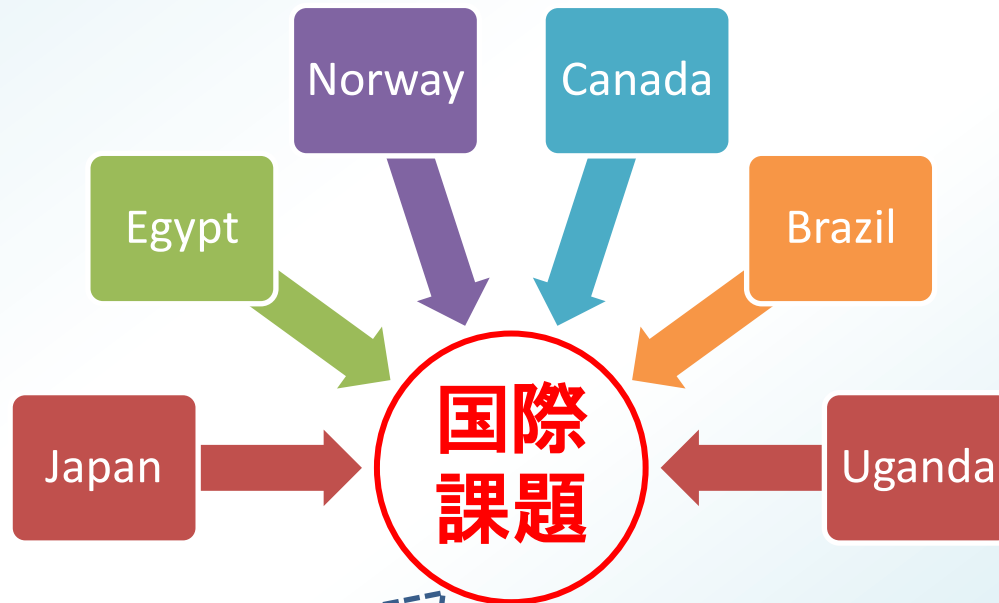
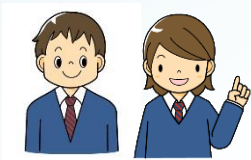
模擬国連はアクティブラーニングの宝箱

模擬国連

模擬国連 = 国連会議を模擬する

それぞれが担当国の大使になって、国際課題の解決に向けて決議案を作る

通常2人1組で大使
(Pair Delegate)



核軍縮、難民問題、児童就労、環境問題、
エネルギー安全保障、安保理改革、etc.

模擬国連

自分たちの主張が反映された決議案を国連会議で通す

① 決議案(DR)を提出する

国が集まらないとDR提出ができない
(1カ国だけでは提出できない)

必要な国数は最初にアナウンスされる



他国とDRグループを形成する



② 決議案が採択される

採択されるには過半数の同意が必要
(過半数いかなければ廃案)



他のDRグループとタッグを組む
DRに賛同してくれる国を増やす

必然的にグループダイナミズムが発生する

アクティブラーニングを考える

私なりの思いと試行錯誤

「英語教育は最も進んでいる」

まずは王道のインターラクティブな授業を目指すことがゴール

外部試験にも対応しうる英語教育

思考を求めすぎて、言葉の活用が止めない

ALに向けての課題とキーワード

- ① ALのコンセプト、ノウハウ、意識の共有
- ② 授業のスリム化、効率化
- ③ シラバスの整備、タスクバンクの構築
- ④ 教科連携
- ⑤ 評価方法の見直し
- ⑥ そもそもの基礎学習習慣の確立
- ⑦ 指導スキルの向上